

平成30年10月31日
四国電力株式会社

平成30年度連結業績予想ならびに期末配当予想の公表について

当社は、これまで、伊方発電所3号機の運転再開時期を見通すことが困難であることから、平成30年度業績予想について、未定としていました。

こうした中、9月25日、広島高等裁判所において、伊方発電所3号機の運転差止仮処分命令を取り消す決定が出されたことに伴い、11月下旬の通常運転再開を見通せる状況となったことから、業績予想を公表いたします。

また、平成30年度期末配当予想についても、これまで未定としておりましたが、今回の業績予想を踏まえ、公表いたします。

平成30年度 連結業績予想数値 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(単位：億円)

	今回公表
売上高	7,300
営業利益	225
経常利益	220
親会社株主に帰属する 当期純利益	150
1株当たり純利益	73円

平成30年度 配当

	1株当たり配当金		
	中間配当	期末配当(予想)	合計
今回	15円	15円	30円
(参考)29年度実績	15円	15円	30円

以上

<通期業績予想の前年度比較>

1. 電力販売

小売販売電力量は、契約電力の減少などから、前年度に比べ 6.4%減の 235.2 億 kWh、卸販売電力量は、前年度に比べ 20.9%減の 38.5 億 kWh と想定しています。この結果、総販売電力量は、前年度に比べ 8.7%減の 273.7 億 kWh となる見通しです。

(単位：億 kWh、%)

		29年度実績 (A)	30年度予想 (B)	比較	
				前年差(B-A)	伸び率
小 売 販 売	電 灯	92.2	86.2	6.0	6.5
	電 力	159.0	149.0	10.0	6.3
	計	251.2	235.2	16.0	6.4
卸 販 売		48.7	38.5	10.2	20.9
総販売電力量		299.9	273.7	26.2	8.7

2. 連結業績

売上高は、総販売電力量の減少などから電気事業は売上減となるものの、連結範囲の拡大などによるその他事業の売上増から、前年度並みの 7,300 億円と予想しています。

利益については、総販売電力量の減少や伊方発電所3号機の稼働減等により需給関連収支が悪化することなどから、前年度に比べ、営業利益は 67 億円減益の 225 億円、経常利益は 60 億円減益の 220 億円、親会社株主に帰属する当期純利益は、46 億円減益の 150 億円と予想しています。

(単位：億円、%)

	29年度実績 (A)	30年度予想 (B)	比較	
			前年差(B-A)	伸び率
売 上 高	7,317	7,300	17	0.2
営 業 利 益	292	225	67	23.1
経 常 利 益	280	220	60	21.4
親会社株主に帰属する 当期純利益	196	150	46	23.8
1株当たり純利益	96円	73円	23円	-

[前提諸元]

伊方3号設備利用率 (%)	52.0	42.6	9.4
石炭CIF (\$/t)	102	119	17
原油CIF (\$/b)	57	74	17
為替レート (円/\$)	111	113	2